

平成29年度 少年自然の家運営委員会

日 時 平成30年2月2日（金）
午前10時00分から
場 所 水戸市少年自然の家 小研修室

次 第

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ
- 3 報 告
 - (1) 平成29年度利用状況について
 - (2) 平成29年度主催事業について
- 4 協 議
 - (1) 平成30年度運営方針（案）について
 - (2) 平成30年度主催事業（案）について
- 5 その他
- 6 閉 会

3 報 告

(1) 平成 29 年度利用状況について

ア 滞在日数別利用状況について

(下段：平成 26 年度 1 年間)

実利用者 人数	滞在日数別利用者数				稼動 日数	延利用者数
	1 日	1 泊 2 日	2 泊 3 日	3 泊 4 日		
10,795 人 (9,344)	2,962 人 (3,842)	7,403 人 (4,669)	430 人 (762)	0 人 (71)	160 日 (167)	19,058 人 (15,750)

イ 対象別利用状況について

(下段：平成 26 年度 1 年間)

対 象	幼稚園	小学校	中学校	少年団体	その他	合 計
団体数	16 件 (23)	40 件 (12)	13 件 (24)	75 件 (68)	36 件 (33)	180 件 (160)
人 数	808 人 (778)	3,094 人 (1,290)	1,713 人 (1,905)	3,659 人 (3,474)	1,389 人 (1,897)	10,795 人 (9,344)

ウ 月別利用者数について

(下段：平成 26 年度 1 年間)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
団体数	3 件 (8)	20 件 (14)	23 件 (14)	18 件 (11)	24 件 (20)	30 件 (23)
人数	55 人 (376)	1,694 人 (913)	1,529 人 (973)	845 人 (745)	1,269 人 (803)	1,761 人 (996)
月	10 月	11 月	12 月	1 月	合 計	
団体数	31 件 (19)	16 件 (14)	14 件 (10)	1 件 (5)	180 件 (160)	
人数	1,995 人 (1,291)	1,022 人 (1,256)	493 人 (487)	132 人 (234)	10,795 人 (9,344)	

エ 過去 6 年間の年度別利用状況について

	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
団体数	148 団体	146 団体	160 団体	42 団体	3 団体	180 団体
実人数	7,960 人	8,348 人	9,344 人	2,730 人	133 人	10,795 人
延人数	14,481 人	14,408 人	15,750 人	4,390 人	133 人	19,058 人

※ 平成 29 年度については、平成 30 年 1 月 24 日現在です。

※ 平成 27 年 7 月から平成 29 年 3 月までは耐震補強・大規模改造工事を実施していたため、主催事業のみを行い、一般の団体の受け入れを中止しておりました。そのため、比較対象を平成 26 年度にしてあります。

(2) 平成 29 年度主催事業について () は新規事業)

行事名	期日	参加人員 (参加人数/募集人数)	趣旨
四季の体験学習 ①田植え	5月13日(土) ～5月14日(日)	男 24名 女 16名 計 40名/60名	緑豊かな少年自然の家で、四季を通して自然に親しみながら米作りを体験する。 ・田植え体験 ・仲間づくり ・自然環境学習(木星を見よう)
親子で フットパス	5月21日(日) 未実施	男 0名 女 0名 計 0名/20家族	専門のガイドを付け、森林や田園地帯など昔からあるありのままの風景を親子で色々な発見をしながら散策する。また、ネイチャーゲームを通して、自然に親しむための手法を学ぶ。
四季の体験学習 ②草取り	6月24日(土) ～6月25日(日)	男 23名 女 16名 計 39名	・田の草取り体験 ・かかし作り ・創作活動(笠間焼)
サマーキャンプ ～5つの原体験に チャレンジ～	7月25日(金) ～7月27日(日)	男 30名 女 30名 計 60名/80名	5つの原体験というテーマを設定しキャンプ生活や野外活動をとおして、心身を鍛錬するとともに、参加者相互の友情の輪を広げ、広い心でたくましく実践力のある青少年を育てる。
水で遊ぼう① (ペットボトルロケット)	8月10日(木)	男 7名 女 3名 計 10名/20名	ロケットの製作から打ち上げ体験まで専任講師が付いて行う。自分が製作したロケットが打ち上がった時の喜びや飛ぶ仕組みを体験を通して学び、宇宙や航空などの科学技術に興味を持たせる。
水で遊ぼう② (水鉄砲づくり) (大きなシャボン玉)	8月20日(日)	男 5名 女 1名 計 6名/20名	専任講師の指導の下に水鉄砲とシャボン玉の創作活動に取り組む。また、制作しながらわかりやすく仕組みを解説し、ものづくりの楽しさや奥深さに触れる。
四季の体験学習 ③稲刈り	9月24日(日)	男 22名 女 15名 計 37名	・稲刈り体験(刈り方、束ね方) ・おだかけ体験 ・昔の脱穀体験
親子で陶器づくり	10月15日(日)	男 8名 女 16名 計 10組 24名 /20組 60名	粘土を手で成型しながら、手ひねりならではのあたたかい風合いの笠間焼づくりと水戸藩発祥の名物料理である「けんちんうどん」作りを親子で体験する。
四季の体験学習 ④収穫祭	11月4日(土) ～11月5日(日)	男 24名 女 16名 計 40名	・食育活動(育てた米を炊こう) ・米作り検定試験 (米作りマイスターになろう) ・もみすり体験 ・餅つき体験
冬を楽しもう シリーズ① (クリスマスリース作り)	12月10日(日)	男 1名 女 6名 計 3組 7名 /10家族	全限周辺の自然素材をふんだんに使ったオリジナルのクリスマスリース作りを通して、親子のふれ合いを深め、親と過ごした時間の思い出作りをする。また、他国の文化を理解する心情をはぐくむ。
冬を楽しもう シリーズ② (冬空の トレジャーハンティング)	12月20日(土)	男 19名 女 11名 計 9組 30名 /20家族	専門講師を迎え、ソユーズ打上げ中継を見ながら解説を聞いたり、星空観察のためのレクチャーを受けたりする。その後、大望遠鏡を使用し講師とともに観察する。天文への興味も持ち環境学習の一助とする

行事名	期日	参加人員 (参加人数/募集人数)	趣旨
親子で陶器を作ろう②	1月28日(日)	男 名 女 名 計 組 名	粘土を手で成型しながら、手ひねりならではのあたたかい風合いの笠間焼づくりと水戸藩発祥の名物料理である「けんちんそば」作りを親子で体験する。
スターハウス in 自然の家	2月24日(土)	男 名 女 名 計 組 名	人類で初めて望遠鏡を天体に向けたガリレオに習い、自作の望遠鏡作りに挑戦する。また、望遠鏡の操作方法を学び天体観察の活動を通して、壮大な宇宙や星座に対する探究心を高める。
週末ネイチャーキャンプ	3月24日(土) ～3月25日(日)	男 名 女 名 計 組 名	親子の触れ合いを大切にしながら様々な自然体験をコーディネートし、参加者と自然の距離を縮めたり、自然に親しむ心情をはぐくんだりしながら家族の絆を深める。

4 協 議

(1) 平成30年度運営方針(案)について

ア 運営方針

近年、自然に親しむ機会が減少しつつある子どもたちに、里山の自然の中で野外活動を体験するなどして、情操や社会性を豊かにするとともに、生命や自然を尊重し、環境を大切にすることを育てる。

また、集団生活により、社会生活に必要な規律・友愛・協同・奉仕の精神を育て、未来を担う心豊かな青少年の育成に努める。

イ 利用促進方策について

子どもたちの心身ともに健やかな成長と水戸市第6次総合計画に目標値として掲げる年間利用者数20,000人の達成に向けて、大規模改造工事等により大幅な魅力向上を図った施設を活用しながら、地域特性を生かした新たなプログラムを展開するなど、自然体験活動の拠点としての機能充実に努める。

施策の方針と取組の柱

- 現代的な教育課題への対応
 - ①体験活動プログラムの充実
 - ②野外教育の充実
 - ③人間関係づくりなど重要課題への対応
- 山根地区の自然を生かした運営
 - ①立地資源を生かした特色ある事業展開
 - ②地産地消の推進
 - ③天体観測の推進
- 利用校、利用対象の拡大
 - ①周知・利用の拡充
 - ②研修の充実
 - ③受入環境の充実
- 関係団体等との連携強化
 - ①自然体験コーディネート機能の強化
 - ②人的資源の活用

ウ 事業について

利用促進方策に掲げる四つの方針や各方針に掲げる取組の柱，さらには大規模改造工事を経て，新たな施設での運営となった今年度の実績や利用者からの要望などを踏まえながら，事業の強化・充実を図っていく。

- 現代的な教育課題への対応
 - ・ ライフスキル研修の実施
 - ・ 試練，チャレンジの機会を与える冒険教育の実施
- 山根地区の自然を生かした運営
 - ・ 地元農産物の栽培体験や調理体験事業の実施
 - ・ 地域食材を活用した食事の提供
 - ・ 天体観測事業の推進
- 利用校，利用対象の拡大
 - ・ ホームページ等の充実
 - ・ 周知範囲の拡大（高等学校，大学等）
- 関係団体等との連携強化
 - ・ 青少年育成関係団体が行う研修会等の積極的な誘致
 - ・ 発明クラブなどの各団体とのネットワークの構築

(2) 平成 30 年度主催事業（案）について（ は新規事業）

行事名	期日	趣旨	農業 自然	科学 創作	地域 連携	事業対象	
						子ども	親子
四季の体験学習 ①田植え	5月12日(土) ～5月13日(日)	緑豊かな少年自然の家で、四季を通して自然に親しみながら米作りを体験する。	○		○	○	
サマーキャンプ ～5つの原体験に チャレンジ～	7月27日(金) ～7月29日(日)	キャンプ生活や野外活動をとおして、心身を鍛練するとともに、参加者相互の友情の輪を広げ、広い心でたくましく実践力のある青少年を育てる。	○	○		○	
天体観察① (火星大接近)	7月31日(火) ～8月1日(水)	2003年の火星大接近から15年ぶりに地球に大接近します。赤く輝く火星を観察する。		○			○
天体観察② (火星大接近)	8月1日(水) ～8月2日(木)	家族のふれあいの大切さを感じるとともに、壮大な宇宙の美しさや不思議さを感じ、自然に対する感性や探求心を高める。					
四季の体験学習 ②稲刈り	9月16日(日)	・稲刈り体験 ・おだかけ体験 ・昔の脱穀体験	○		○	○	
四季の体験学習 ③脱穀作業	9月30日(日)	・おだおろし体験 ・脱穀体験(回転式) ・とうみ選別作業体験	○		○	○	
親子で 陶器づくり①	10月14日(日)	手ひねりならではのあたたかい風合いの笠間焼づくりと郷土料理作りを親子で体験する。		○			○
四季の体験学習 ④収穫祭	11月11日(日)	・食育活動 (育てた米を炊こう) ・もみすり体験 ・餅つき体験	○		○	○	○
親子で自然観察 & リンゴ狩り	11月18日(日)	自然観察やリンゴ狩りをとおして、秋の自然や味覚を満喫し、親子の心のふれあいを深める。	○			○	○
火おこし体験	12月2日(日)	原始的な方法で火を起こす活動である。火を生み出す、火を扱う、火を見つめる体験を通して創造力や思考力をはぐむ。	○			○	○
冬を楽しもう クリスマスリース作り	12月16日(日)	全隈周辺の自然素材をふんだんに使ったオリジナルのクリスマスリース作りを行う。また、他国の文化を理解する心情をはぐむ。		○			○

行事名	期日	趣旨	農業 自然	科学 創作	地域 連携	事業対象	
						子ども	親子
(仮)自然の家 マーケット	1月～2月の 毎週末予定	自然の家の人気活動プログラム等を体験することにより、体験活動への興味・関心を高める。自然の家や体験活動の大切さを多くの方々に周知する。		○		○	○
親子で陶器作り (第2回)	1月27日(日)	手ひねりならではのあたたかい風合いの笠間焼づくりと郷土料理作りを親子で体験する。		○			○
スターハウス In自然の家	2月3日(日)	人類で初めて望遠鏡を天体に向けたガリレオに習い、自作の望遠鏡作りに挑戦する。また、望遠鏡の操作方法を学び天体観察の活動を通して、壮大な宇宙や星座に対する探究心を高める。	○	○		○	
科学創作活動 ウォーターロケットプロジェクト	1月～3月	ロケットが飛ぶ原理についての講義やウォーターロケットの製作・打上げ体験を行う。体験を通じて、宇宙や航空などの科学技術に興味を持たせ、科学の面白さを実感する。		○		○	
週末ネイチャーキャンプ°	3月9日(土) ～3月10日(日)	親子の触れ合いを大切にしながら様々な自然体験をコーディネートし、参加者と自然の距離を縮めたり、自然に親しむ心情をはぐくんだりしながら家族の絆を深める。	○				○

水戸市少年自然の家運営委員会委員名簿

(順不同)

氏 名	役 職	備 考
森 田 聡	常磐小学校校長	
小 林 宏 次	浜田小学校校長	
深 見 晋	見川小学校校長	
武 藤 信 一	内原小学校校長	
佐 川 真 治	水戸市子ども会育成連合会会長	
井 川 明 美	水戸市ボーイスカウト・ ガールスカウト連絡協議会副会長	
影 山 俊 男	茨城大学 社会連携センター長	
伊 藤 真 木 子	常磐大学 人間科学部准教授	
高 儀 稔	山根自治連合会会長	
猪 野 和 恵	学識経験者（看護師）	

任期 平成 29. 7. 8 ～平成 31. 7. 7